

(単位:億円)

2018/8/8 修正

コンシューマー食品 合計	FY18 予想*2	FY17 実績 *2、*4	差額	FY17 9M実績 *2、*4	FY17 1H実績 *2、*4	FY17 1Q実績 *2、*4	FY16 実績	FY15 実績
売上高	8,878	8,488	389	6,409	4,064	2,010	8,194	8,609
日本食品	4,006	3,841	164	2,926	1,846	922	3,904	3,970
調味料・加工食品	1,982	1,902	79	1,445	899	438	1,917	1,982
冷凍食品(日本)	1,046	1,008	38	768	509	256	987	929
コーヒー類	977	930	46	712	438	227	999	1,058
海外食品	4,872	4,647	224	3,483	2,218	1,088	4,289	4,639
調味料・加工食品	3,064	2,931	133	2,206	1,418	695	2,653	2,803
冷凍食品(海外)	1,182	1,062	119	787	482	236	984	1,055
加工用うま味調味料・甘味料	625	652	▲27	489	317	156	652	780
事業利益*1	861	803	57	679	402	212	825	790
日本食品	395	388	6	337	180	100	408	317
調味料・加工食品		348	約0	287	160	78	356	324
冷凍食品(日本)		78	約5	66	44	26	84	44
コーヒー類		78	約10	67	31	24	84	59
全社共通費	▲126	▲116	▲9	▲83	▲55	▲28	▲116	▲110
海外食品	466	414	51	341	221	112	417	473
調味料・加工食品			40					
冷凍食品(海外)	41	23	17	28	16	8	54	62
加工用うま味調味料・甘味料			▲6					
全社共通費	▲152	▲152	0	▲108	▲73	▲37	▲139	▲127

対前年 増減要因または主要施策	
【日本食品】 調味料・加工食品は、家庭用は主要製品の安定成長や新領域製品の拡大、業務用は顧客の課題解決に向け、機能性素材の拡大等により増収を見込む。 冷凍食品は主要製品・カテゴリーの更なる拡大や新製品を中心とした新規需要の掘り起こし等により増収を見込む。 コーヒー類はスティックの継続拡売やリキッドコーヒーの製品拡充、業務用拡売の継続取組等により増収を見込む。	
【海外食品】 調味料・加工食品は調味料の安定成長と、飲料事業における課題対策等により増収を見込む。 冷凍食品は北米の主要カテゴリーの拡大や新規連結影響等により増収を見込む。 加工用うま味調味料・甘味料は、甘味料はコンシューマー製品の拡大により増収を見込む、主に海外におけるMSGの単価下落傾向により全体で減収を見込む。 (参考)FY18予想:加工用うま味調味料 463、FY17実績:加工用うま味調味料 495	
【日本食品】 調味料・加工食品は事業は堅調に伸長するも、新組織設立に伴う諸費用増等の影響により前年並みを見込む。 冷凍食品は売上増加と収益構造の継続強化等により増益を見込む。 コーヒー類は売上拡大と収益構造の継続強化等により増益を見込む。	
【海外食品】 調味料・加工食品は調味料の安定成長と、飲料事業における収益構造強化等により増益を見込む。 冷凍食品は増収に加え、北米の生産体制強化等により増益を見込む。 加工用うま味調味料・甘味料は、加工用うま味調味料は減収に伴い減益、甘味料は前年並みを見込む。 (参考)▲6億円減益予想の内、加工用うま味調味料で▲4億円	

アミノサイエンス 合計	FY18 予想*2	FY17 実績 *2、*4	差額	FY17 9M実績 *2、*4	FY17 1H実績 *2、*4	FY17 1Q実績 *2、*4	FY16 実績	FY15 実績
売上高	2,684	2,385	298	1,715	1,092	515	2,136	2,338
ライフサポート *3	1,285	1,185	99	878	561	267	1,140	1,322
動物栄養	964	870	94	641	405	190	784	949
化成品		291	約5	219	145	71	338	331
その他		23	約0	17	10	5	18	41
ヘルスケア *3	1,399	1,199	199	837	531	247	995	1,015
アミノ酸		792	約165	526	319	151	712	758
医薬用・食品用アミノ酸		約365		約260	約170	約85	約355	約380
製薬カスタムサービス		約430		約270	約150	約65	約355	約380
その他		406	約35	310	211	96	283	257
事業利益*1	181	174	6	121	57	14	140	191
ライフサポート *3	63	80	▲17	62	28	9	44	105
動物栄養	18	30	▲12	19	▲0	▲3	6	55
化成品		94	▲約5	72	49	23	84	88
その他		▲7	▲約0	▲3	▲3	▲0	▲9	▲3
全社共通費	▲35	▲36	1	▲25	▲17	▲8	▲36	▲35
ヘルスケア *3	118	93	24	58	29	5	95	86
アミノ酸		90	約35	50	26	9	105	103
医薬用・食品用アミノ酸								
製薬カスタムサービス								
その他		42	▲約5	34	19	4	21	12
全社共通費	▲43	▲38	▲4	▲26	▲17	▲8	▲30	▲29

対前年 増減要因または主要施策	
【ライフサポート】 動物栄養は構造改革を進め、スペシャルティ製品を伸長させ、全体として増収を見込む。	
【ヘルスケア】 医薬用・食品用アミノ酸は大手顧客向け製品の出荷増、新規連結影響等により増収を見込む。 製薬カスタムサービスは欧米事業の伸長、新規連結影響等により増収を見込む。 その他は、スポーツニュートリション事業、ダイレクトマーケティング事業の伸長等により増収を見込む。	
【ライフサポート】 動物栄養は、コモディティ製品の単価変動リスクを織り込み、減益を見込む。	
【ヘルスケア】 医薬用・食品用アミノ酸、製薬カスタムサービスともに売上拡大等に伴い増益を見込む。	

その他	FY18 予想*2	FY17 実績 *2、*4	差額	FY17 9M実績 *2、*4	FY17 1H実績 *2、*4	FY17 1Q実績 *2、*4	FY16 実績	FY15 実績
売上高	278	273	4	198	127	60	581	545
事業利益*1	▲12	▲21	9	6	10	6	2	▲0
全社共通費	▲26	▲22	▲4	▲17	▲11	▲6	▲32	▲37

対前年 増減要因または主要施策	

総合計	FY18 予想*2	FY17 実績 *2、*4	差額	FY17 9M実績 *2、*4	FY17 1H実績 *2、*4	FY17 1Q実績 *2、*4	FY16 実績	FY15 実績
売上高	11,840	11,147	692	8,323	5,285	2,586	10,911	11,494
事業利益*1	1,030	956	73	807	470	234	968	981

対前年 増減要因または主要施策	

表示上の注意: 非開示 約** 概算値

*1 当社が経営管理のために独自に定義した利益指標
事業利益(連結ベース) = 売上高 - 売上原価 - 販売費・研究開発費及び一般管理費 + 持分法による損益

*2 2018年度より、物流事業を非継続事業に分類しております。これにより非継続事業からの利益は、継続事業と区分して表示しております。これに伴い、売上高、事業利益は、継続事業の金額を表示しております。
なお、対応する2017年度についても同様に組み替えて表示しております。

*3 セグメント変更点(過去実績組替済): ライフサポート「化成品」に含まれていた「化粧品素材事業」を、2018年度よりヘルスケア「その他」へ変更しております。

*4 前連結会計年度において、企業結合及び共同支配企業に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2017年度に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。

・本資料は、監査を受けていない参考値が含まれます。